広報
もりよし

発行所　森吉町役場
編集　総務課
印刷所　米内沢中央印刷所

発行部数　3,300部
1部　7円

稲作近代化集団報賞

＝特別賞表彰＝

本城農業技術経営研究会

努力賞は根小屋グループ

本年度の稲作近代化集団報賞入賞グループが十一日に発表され当町本城農業技術経営研究会が特別賞を表彰されることになった。

表彰式は県主催の「健康な稲づくり運動推進大会」が二十六日午前十一時から秋田市体育館で開かれその会場において晴れの特別賞を受賞された。

去る二十七日午后一時より本城農業技術経営研究会主催により本城浄福寺において昭和四十五年度秋田県稲作近代化報賞受賞祝賀会を開催秋田県知事外多数の来賓ご臨席のもとに盛大に開催され今後のきびしい農業情勢の中で米づくりに取り組む意欲を誓いあった。

会長金仁一郎氏は三十九年度から七年間続けられたこの報賞制度は本年をもって終了したが今後は生産調整や米価抑制のきびしい農業情勢の中でも私たちグループは稲作に対する熱意を失うものではないいかに生産性の高い稲作を行なうかこれを励みに今後は農業の変革期に対応した「うまい米づくり運動」に努力を続けたいと感謝のことばを述べた。

本城グループのあゆみをご紹介いたしますが

◎昭和二十九年に本城農業経営技術研究会を設立され健苗育成のため三早栽培を普及推進をはかった

◎昭和三十二年に三町歩集団に参加し県知事一行が圃場視察に来町した

◎昭和三十三年電熱温床の実施を奨励した

なお町多収穫研究及び郡米多収穫競作会に会員多数参加し優秀な成績をおさめた

◎昭和三十五年農業日本一秋田県大会に参加金仁一郎金兵作両氏が県第三位の成績をおさめた

◎昭和三十六年農業日本一秋田県大会に参加金仁一郎東北第一位、全国第二位の成績をおさめた

◎昭和三十七年度農業日本一秋田県大会に参加
金　兵作　秋田県第二位

◎昭和三十八年農業日本一秋田県大会に参加
金仁一郎　金　兵作　秋田県第三位

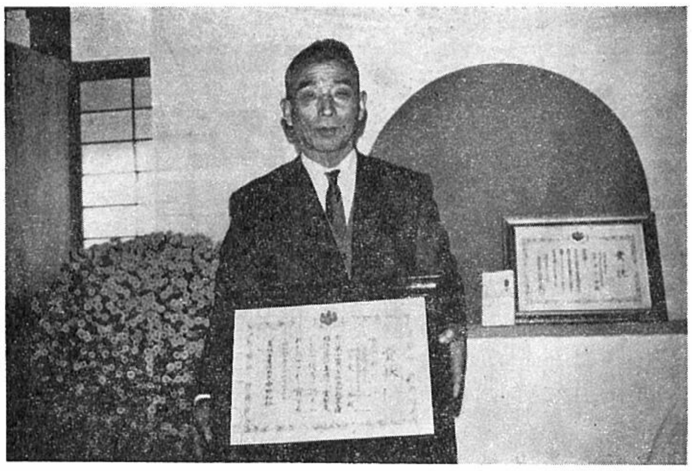
◎昭和四十一年　金仁一郎　緑白授有功徴章受賞された七五〇K報賞制度に参加し地域賞を受賞した

◎昭和四十二年七五〇K報賞制度に参加　準特別賞を受賞

◎昭和四十三年七五〇K報賞制度に参加　地域賞を受賞

◎昭和四十四年七五〇K報賞制度に参加　地域賞を受賞

◎昭和四十五年七五〇K報賞制度に参加　特別賞を受賞された



（特別賞受賞の会長金仁一郎氏）

年末を明るくする 交通安全運動実施

12月21日～12月27日

一、目的

この運動は年末に多い歩行者及び自転車の交通事故を防止するためすべての県民に交通安全思想の周知徹底を図り正しい交通ルールの実践を訴えることを目的とする。

二、スローガン

交通事故のない明るい年末にしよう。

三、重点実施事項

◎街頭指導

1 歩行者、自転車に対し正しい運行の指導啓発を行なう。

2 朝、夕の通勤通学の時間帯に実施する。

3 事業場、会社、商店においても自主的に街頭に出るよう提唱する。

3 街頭活動の計画は別表による。

◎交通安全広報活動

1 家庭で交通事故防止について語り合う。

2 家を出るときは必ず注意し合う。

3 広報紙、チラシ等あらゆる媒介を利用して広報実施する

4 期間中指導車による巡回宣伝をを実施する。

年末帰郷 年始上京 バス運行

秋北バス株式会社では帰郷上京バスの運行を次のとおり実施いたすことになりました。

一、帰郷バス（全員座席指定）

十二月二十六、二十七、二十八、二十九、三〇日

二、上京バス（全員座席指定）

一月三、四、五、六日

会員募集で毎日運行

行程

秋北バス鷹巣営業所

一五、三〇分発

翌朝九、三〇分　上野着

運賃

(1) 一人三、〇七〇円運賃全額を添えてお申込み下さい。

なお取消しの場合は違約料として一、〇〇〇円を徴収されます。

(2) 三八人分の運賃保障で随時貸切運行致します。

詳しいことは秋北バス株式会社米内沢営業所にご相談お申込下さい。

葉たばこ 収納日定決る

専売公社仙台地方局は四十五年産米内沢地区葉たばこ収納は一月七日から二十六日まで行なうことになった。

年末年始は明るく

年末年始の防犯運動が十二月二十一日から昭和四十六年一月十日まで行なわれます。

期間中は事件事故をなくし明るく楽しいものとしましょう—阿仁部防犯組合—

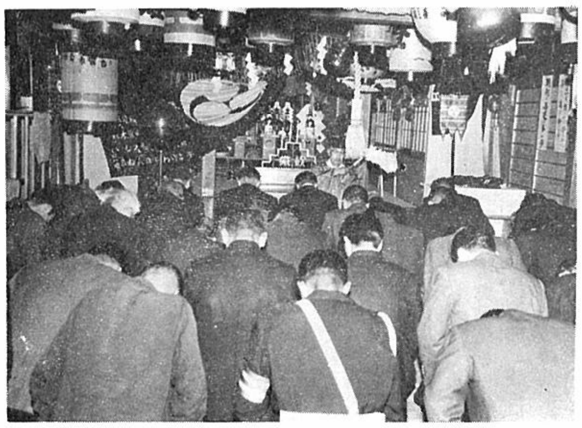
よい家庭　よい習慣で　よい子は育つ

（青少年を立派に育てる運動）

交通死亡事故ゼロの記録 達成と記録延長祈願祭

米内沢地区交通安全協会主催により去る二十四日午后三時より米内沢神社において交通事故ゼロの記録達成とこれに対する感謝をかねさらに記録延長祈願祭を関係者多数参加の上挙行されました。

十一月二十三日をもって死亡事故ゼロ満二年の記録が達成されたのです。今後もなお一層この記録延長に全町民のご協力をお願い申し上げます。



（米内沢神社における祈願祭）

出かせぎ者にたばこは 町内の店から買いましょう

私共男性として、日常生活で是非必要なのは、煙草です。昭和四十四年度においても町に入った煙草消費税は、ざっと一千一百万円となっております。誠に馬鹿にならない額であります。

それで当町から冬期間の出かせぎに是非お願いしたいことは、出発の際必ず町内から煙草を必要なだけの量を買って行くようにして下さい。

尚出稼者の希望であれば一定量を後日、家族から送らせてもよいと思いますので、町内より求めるようにして下さい。

送り料は町より助成することになっており、たばこの代金は、出かせぎから帰郷してから支払いしてもよいことになっていますので出稼中の必要量を、町の出稼相談所にお知らせ下さい小売店と相談の上、家族にその数量を配布し家族の手で皆さんに送らせるよう御手配申上げます。

″新年祝賀会御案内″

昭和四十六年新年祝賀会を左記により開きますので多数参加下さるようお知らせいたします。

記

一、日時　一月一日　午前十一時

二、会場　米内沢農協会議室

三、会費　五〇〇円

四、申込〆切　十二月二十五日まで

参加者は会費を添えて役場総務課企画係に申込み下さい。但し急を要する場合は電話（三五〇番）でも結構です。名簿調整等準備の関係で同日で〆切らせていただきます。なお期限まで申込みのない場合は祝賀会名簿に登載出来ませんので必ず期限まで申込み下さい

自動車仮ナンバーのご利用

八月より臨時運行標（仮ナンバー）を貸し出しておりますのでご利用下さい。

◎仮ナンバーの貸し出しは

一、新規に車検を受けるとき

二、登録のため運行

三、修理工場入所のため

四、試運転のため

貸し出し期間は最高五日を限度としており、また手数料は一件につき二〇〇円です。自賠責保険証と印鑑を持参し総務課企画係へお出で下さい。

住宅入居者募集

左記により住宅の入居者を募集します。（申込みは役場窓口へ申し出て下さい）

記

一、対象住宅　七曲8号　松山町1号　御嶽1号

二、申込期限　12月24日

◎詳細は役場建設課までお問い合せ下さい。

県民手帳を配布します

県民手帳の入荷がおくれて申し訳ありません。

二十日までには全部配布できる予定です。

手帳の内容を充実し、利用度を高めるために、皆様が利用した上でお気づきの点がありましたら、是非意見をお寄せ下さい。

（企画係）

タバコはいつでも町内から買いましょう

交通災害共済加入

（一人年三〇〇円の掛金）

あなたは加入しましたか

きのうもきょうも交通事故の暗く悲しいニュースはたえそうもなく日ごとに増える一方です　あなたも道を歩いているとき車に乗っているときいつも事故の危険にさらされているのです。ほんとうにいたましい実情です。不幸にして災害をうけられた人たちのため県内市町村が団結して交通災害共済組合をつくりました。いつどこでだれが事故にあうかわかりません。万一にそなえみんなそろって組合に加入しましょう。

記

一、掛金

一人年三〇〇円但し小学生は町より五〇円の奨励金が支給されます。

二、加入申込

森吉町役場前田支所の窓口に掛金を添えて申込んで下さい。

三、災害共済金

(イ)死亡　五〇万円

(ロ)六月以上治療を要する傷害　一〇万円

(ハ)三月以上治療を要する傷害　五万円

(ニ)一月以上治療を要する傷害　二万円

(ホ)一週間以上治療を要する傷害　五千円

十一月一日現在の森吉町の住民登録人口は　一二、六二九人　世帯数　二、八一一世帯

国勢調査結果まとまる（概数）

減少する町の人口

五年間に一、八三〇人減る

　十月一日現在で行なわれた国勢調査の結果本町の人口概数は一二、〇四一人とでました。

　ことしの国勢調査の結果は男五、六六九人、女六、三七二人合計一二、〇四一人で前回の昭和四十年国勢調査よりも男九四一人、女八八九人が減っています。

　なお世帯数の場合は人口減により四十年度より七一戸が減になっております。

人口減少の原因は

一、減反問題などのきびしい農業情勢により長期出かせぎ者がふえたこと。

二、新規学卒者の多くが町内に定着せず県外就職で転出したこと。

三、出生数が減少して人口の自然減、社会減に追いつかなくなったこと。

四、電気化学工業株式会社秋田鉱業所の閉鎖の減などがあげられる。

　いずれにしても人口が減るということは町財源の基礎となる地方交付税の配分や議員の定数等など各方面に影響することは心配されることです。

　農村から都市へ農業から商工業へ多くの労働人口の移動をどうするか、工場誘致や二、三男の対策をどうするのか、国はもとより町としての今後の課題は大きいようです。

昭和40年　45年国勢調査比較表

事　項		40　年	45　年	増　減	増減率
1 世帯数		2,907戸	2,836戸	△ 71戸	2.4%
2 人口	男	6,610人	5,669人	△941人	△14.2%
	女	7,261人	6,372人	△889人	△12.2%
計		13,871人	12,041人	1,830人	

※この人口概数は後日総理府統計局から公表される数字と異なる場合があります。

大切な信書を郵便受箱でどうぞ

　北風の吹きすさぶ寒空を受けて玄関先に赤い端正な身なりでかまえているのが郵便受箱、私です。

　この家の通信情報を管理する私は家人の不在、外出雨の日、風の日でも皆さんの大切な手紙をしっかり守っております。

　いつも定まった場所に安全に配達される郵便受箱をどうぞお備えください。

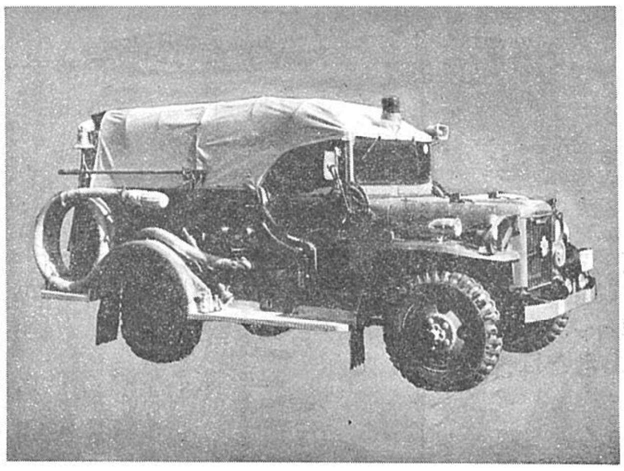
　お申込みは郵便局へ。

新消防ポンプ自動車

第五分団に配置される

　町では昭和四十五年度消防施設事業として国庫補助金と前田財産区と繰入金、寄附金及び町費により発注していた消防ポンプが十一月二十五日入車し直ちに第五分団に配置した。

　この消防ポンプは日産キャリアの台車に積載し標準ぎ装した高性能車であり価格は三百五万にて購入しこれを配置した。



（第5分団に配置された消防自動車ポンプ）

☆☆納税告知板☆☆

年末調整の注意点

　給与所得者の所得税は、給与の支払者が支払いの際に、その給与に対応する所得税を差し引いて納める源泉徴収制度となっており、十二月に、一年間に源泉徴収された所得税を精算するための年末調整が行なわれます。

　給与所得者は、その年最後の給与の支給を受ける日の前日までに「扶養控除等異動申告書」と「保険料控除申告書」を給与支払者に提出しなければなりませんこれらの申告書が正しく記載されないと、正確な年末調整ができませんから、早めにご準備ください。

貯蓄と税金

　従来、預貯金や公社債の利子などは一五％の所得税源泉徴収がされるだけで、ほかの所得とは分離して課税されていましたが、昭和四十六年一月一日から五十年十二月三十一日までの間に支払われる利子に対する課税は、次のように変わります。

(1)定期預金、貸付信託、公社債、勤務先預金等の利子所得については、従来のように源泉徴収されるだけの分離課税と、ほかの所得と合計して確定申告をする総合課税のどちらか有利な方を選ぶことができます。

　源泉分離課税を選択した場合の税率は、昭和四十六四十七年中は二〇％、昭和四十八年から五十年までは二五％です。

　総合課税を選択した場合は一五％の税率で源泉徴収され、利子所得とほかの所得を合計して確定申告をし精算します。

(2)普通預金や通知預金の利子は原則として総合課税になりますが、確定申告はしなくてもよいことになっています。ただし、ほかの所得があまり多くないときは確定申告をして、源泉徴収された税金の還付を受けることもできます。

国民年金

伸びゆく国民年金(2)

◎魅力のある年金給付◎

　拠出制国民年金の給付は老齢年金、通算老齢年金、障害年金、母子年金、準母子年金、遺児年金、寡婦年金の七つの年金と死亡一時金があります。

　国民年金に加入していれば、万一事故が起きたときに、これらの年金給付のうち、どれかがすぐ支給されます。

　年金額は、これまで二回も大幅な引き上げを行って

よって、老齢年金についていえば、夫婦で月額二万円の年金が実現しました。

◎有利な国庫負担◎

　国民年金の有利な点はいくつもありますが、そのひとつとして、国が大幅な財政援助をしていることがあげられます。

　つまり、加入者が保険料を納めますと、国も同時にその半額を援助してくれま

を納めた場合には六七五円の保険料を納めたことになり、これが年金の財源となって、将来、加入者の手元にかえってくることになります。

　また国民年金では、常に物価や所得の水準に会わせて年金額を改定することになっていますが、これも利点のひとつです。

◎七〇年代は年金時代◎

　現在、年金を受けている人は全国で障害年金四万人母子年金十一万人、遺児年金七千人となっています。

　老齢年金は、制度発足当時に高齢に達している人たちについての受給に必要な期間が十年とされているので、来年の五月から支給が始まります。十年の期間を満たして老齢年金を受ける人たちは、約百万人とみこまれています。

　また、五年間保険料を納めて老齢年金を受けることができるいわゆる五年年金は、本年一月から実施されおよそ七五万人がこれに加入しています。

　このように、わが国でも年金時代が到来しました。これからの生活は年金なしでは考えられません。

　制度が発足して十年で、このように多くの年金受給者ができる国民年金は、なくてはならない年金制度になっています。

　あなたも、この年金制度に加入し、将来に備えましょう。

　〃きっとささえになります〃

△国民年金の保険料は
　一年分を前納しましょう

　月々にかけるめんどうがなく便利です。

　かけ忘れのため年金をもらえなくなるような心配がなく安心です。

　かけ金が割引きされるのでお徳です。

　定額保険料だけを納める人の一年前納額は五二七〇円で一三〇円の割引。

　定期保険料と所得比例保険料を納める人の一年間前納額は九三七〇円で二三〇円の割引。

　ことしから五年間の高齢任意加入をした人の前納額一年分で八七八〇円、二二〇円の割引となっております。

　前納を希望する方は役場または地区の年金委員に申し出て下さい。

歳末たすけあい運動

東パキスタン募金と一緒に

12月1日→31日

　NHK主唱のもとに生活に困っている人。老人ホームなどの施設で暮している人　今年不幸にあった人など恵まれない人々が明るい正月を迎えることが出来るようにと毎年行なっている歳末たすけあい運動の時期となりました。期間中は婦人会の御協力を得て募金運動を行ないますので町民各位のご協力をお願いいたします。

　なお当町では東成瀬地震東パキスタン被災者のための募金をこれまで行なっておりませんのでこれも附随して行ないます。

善意

利益金を寄附

　森吉町連合青年会

　町連青では先に文化祭を行なったが、利益金一、四〇〇円を心身障害児のために町社協を通じて県社協に寄附しました。

香典がえし

　本城　柴田作之助氏

　故長男柴田兵太郎氏の忌明にあたり一〇、〇〇〇円をこのほど町社会福祉協議会に寄附しました。

東成瀬地震見舞金寄附

　宮越福祉財団

　東成瀬村地震被災者に五、〇〇〇円を見舞金として寄附いたしました。

　本丁　佐々木貞男氏

　先に逝去した母堂佐々木ツル氏の忌明にあたり社会福祉協議会に三〇、〇〇〇円を寄附されました。

慶弔だより（十一月）

出生　おめでとうございます

金　照代	（義弘　長女）	御嶽
近藤佐織	（吉太郎　二女）	根小屋
柴田秋子	（潤　三女）	川向
虻川　豪	（清喜　長男）	小又

婚姻　このよろこびをいつまでも

金田信男	本城	成田恵美子	小坂町
武石　勲	根小屋	庄司キミエ	神成
松橋憲作	駅前	清水五百子	鷹巣町
佐藤正市	鶴田	田崎和子	白坂
柳谷喜美男	阿仁町	播磨ヨネ子	森吉
小野寺利雄	新屋布	武藤幸子	東京都
野村米男	神成	仁木房子	新潟県
鈴木金作	桂瀬	後藤ツメヨ	福島県
柴森鉄美	女木内	石川ノリ子	鷲ノ瀬
菊地久美	二ツ井町	庄司ウメ子	桂坂
小笠原貞朝	大館市	新林チヨ	小滝
吉田隆栄	米内沢	保坂良子	秋田市
清水　聡	新町	板垣カズ子	本城
佐々木末吉	鷹巣町	細田京子	中新田
奥田賢一	浦田	安井照子	二ツ井町
小川宣明	栃木県	戸沢サツ子	小又
柏木　繁	桂瀬	堀井裕子	河辺郡
森川　勲	新屋布	久住カヨ子	向様田
佐藤真之	神成	後藤民子	山形県
庄司太治	神成	森川満子	新屋布
佐藤長市	鷹巣町	若松恵美子	巻ノ上
金沢研蔵	惣内	吉田恵美子	合川町
吉田秋雄	森吉	羽場ノリ	桐内
新林重男	深渡	大山さか江	横浜市

死亡　おくやみ申し上げます

鈴木キサ	71	（忠雄　母）	向本城
武石助松	81	（太市　父）	根小屋
奥田タツ	78	（多一　母）	寄延
佐々木ツル	63	（貞男　母）	本丁
工藤タケ	82	（米治　母）	寄延
保坂勇孝	33	（エミ　夫）	駅前
鈴木明士	44	（勝治　三男）	大町
庄司キワ	76	（親雄　母）	桂坂
涌坪定吉	76	（吉治　養父）	桐内
高橋キクノ	68	（長次郎　母）	新屋布
佐藤登良治	68	（登良夫　父）	阿仁前田
若木嘉助	88	（善治　父）	新屋布
新林ユリ	83	（太七　養母）	小滝

毎月十日は「防火の日」